



広報

さくらがわ

10²⁰¹⁵ / 1
別冊

市制施行10周年記念特集号

■主な内容■

- ② 市長挨拶・議長挨拶
- ③ 桜川市 10 年の軌跡
- ⑥ 桜川市未来予想図
- ⑧ 平成 17 年 10 月 1 日誕生

阿部田橋から筑波山を望む



新たな

時代に向けて

桜川市長

おおつか ひでき
大塚 秀喜

桜

川市は、平成の大合併により平成17年10月1日に岩瀬町・真壁町・大和村の2町1村が合併し誕生いたしました。この記念すべき10周年の節目を迎えることが出来ましたことは、市民の皆様方のお力添えの賜であると心より感謝申し上げます。

さて、この10年間を振り返りますと、景気の低迷や少子高齢化、人口減少など厳しい社会情勢のなか、行財政改革を実施しながら、大和中学校の建て替えや真壁伝承館の建設、桜川市学校給食センターの建設などの公共施設整備をはじめ、デマンド交通の運行開始、防災行政無線のデジタル化などの諸事業に取り組んでまいりました。また、北関東自動車道・桜川筑西インターチェンジが開通し、真壁地区の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、県内外より多くの方が桜川市を訪れるようになりました。

一方、新中核病院と桜川市立病院の

整備につきましては、県西総合病院と

山王病院、筑西市市民病院の三つの病院を再統合することで筑西市と合意がな

され、今後、両病院の役割や機能分担などについて協議してまいります。また、企業誘致につきましては、北関東

自動車道・桜川筑西インターチェンジ付近で、民間活力による開発を推進して

います。さらに、少子高齢化、人口減少へ対応するため「長期人口ビジョ

ン」及び「総合戦略」を策定するとともに、定住促進対策や子育て支援、学

校教育の充実など若い世代が安心して子育て出来る環境整備にも取り組んで

まいります。

そして、本年が桜川市の新たな時代の礎となりますよう主要施策に全力で

傾注するとともに、本市の発展基盤となります取組みをさらに加速させてま

いりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

し上げます。



輝き続け

繁栄する桜川市

桜川市議会議員

うしおだ しんせい
潮田 新正

地

方分権時代の「平成の大合併」によりまして、平成17年10月1日に岩瀬町・真壁町・大和村の2町1村が合併して「桜川市」が誕生し、本年度で10年になります。当時、西茨城郡の一部と真壁郡の一部が合併するという方向性が示された時、これでいいのか、どのような形で合併すればいいのか、日夜、熱い議論が交わされたことを昨日のことのように思い出します。

この10年を振り返って見ますと、記憶から拭い去ることのできない大きな出来事は、平成23年3月11日に発生した未曾有の大震災であります。東日本を中心に、一瞬にして尊い生命・財産が奪われてしまいました。本市では、特に真壁地区で甚大な被害を受けたことは記憶に新しく忘れることのできない辛い出来事でありました。

しかし、ふるさと・伝建地区に対する愛着と復興への熱い思いで、地域が一丸となってスピード感を持って取り

組み、元の風情ある姿に戻ってきました。この力強い復興への思いが感動と希望を与えてくれましたし、この桜川市から全国に向けて「元氣」を発信してくれたものと信じております。

あつという間の10年でありましたが、同じ風習・習慣を共有する者同士でも、町村単位、あるいは集落単位に、長い年月の間に培われてきた生活文化の違いがあります。あるいは、利害の一致しないところなど、多くの困難を乗り越えて、合併のために奔走された方々、特に当時の三首長、議長、議員、関係者各位のご苦勞に改めて敬意と感謝を捧げるものでございます。

本市は、山や川・桜など、豊かな自然環境に恵まれています。ふるさとを愛することで、幸せをもたらし、輝き続け、繁栄するものと信じております。終わりに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

桜川市10年の軌跡

平成の大合併の中、岩瀬町・大和村・真壁町が、平成17年10月1日に合併し、人口4万9,896人の桜川市が誕生。本年10月1日、市制施行10周年を迎えました。

この間、公共施設やインフラ整備などの充実や真壁の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されるなど、総合的なまちづくりが進められてきました。

そこで、桜川市誕生後の10年間の軌跡を、写真とともに振り返ります。

岩瀬町・大和村・真壁町が合併し、桜川市誕生。大和庁舎前で開庁式が行われました。(平成17年)



4月12日	4月1日	平成20 (2008)年	12月12日	11月10日 ～13日	7月16日	平成19 (2007)年	10月15日	平成18 (2006)年	12月11日	10月30日	10月1日	平成17 (2005)年
北関東自動車道の桜川筑西IC(インターチェンジ)～笠間西IC開通	新たな交通サービス「桜川市デマンド型乗合タクシー」の運行開始		「市民憲章」と「市の花(ヤマユリ)・木(サクラ)・鳥(ウグイス)」が決定	ねんりんピック茨城2007開催。桜川市がソフトボール交流大会の会場に	芝生グラウンド完備の桜川市桜井農村公園がオープン		震度6弱の直下型地震を想定した桜川市総合防災訓練開催		桜川市合併記念式典開催	桜川市初代市長に中田裕氏就任 (なかた ゆうじ)	岩瀬町・大和村・真壁町が合併し、桜川市誕生。市の市章も制定	

市章の3つの桜の花びらは、3町村の対等合併を表し、中央のダークブルーのフォルムは筑波山。その下のライトブルーは、桜川。それぞれ、市のシンボルである桜・山・川を表現しています。(平成17年)



「市の花(ヤマユリ)・木(サクラ)・鳥(ウグイス)」が決定(平成19年)

筑西・桜川地域公立病院等再編整備推進協議会の第1回目の協議会が開催（平成27年）



旧真壁中央公民館

旧真壁中央公民館跡地とその周辺に、真壁伝承館を建設（平成23年）



数多くの伝統的な建物が存在する真壁の町並みが、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。（平成22年）

桜川市初の女性消防分団が発足（平成21年）



旧校舎

大和中学校校舎の施設・設備が老朽化しているため、新校舎を建設（平成20年）



10月1日	9月27日	8月29日	7月23日	3月27日	平成27（2015）年	10月30日	9月2日	3月31日	2月1日	平成25（2013）年	平成24年度	10月24日	7月12日	5月6日	1月17日	平成24（2012）年	10月21日 5月22日	10月1日	9月1日	3月31日	3月31日	3月11日	2月15日	平成23（2011）年	12月21日	6月29日	平成22（2010）年	7月25日	6月7日	3月31日	平成21（2009）年	12月19日	12月20日	11月1日 5月9日	6月19日	平成20（2008）年
市制施行10周年	市制施行10周年記念式典と市民祭が同時開催	茨城県・桜川市総合防災訓練開催	名誉市民に、（故）飯島輝信氏決定	「筑西・桜川地域公立病院等再編整備推進協議会」が設立され、第1回目の協議会が開催		桜川市長に大塚秀喜氏就任	1日3,500食まで調理可能な桜川市学校給食センターが稼働開始	岩瀬庁舎施設内に、防災備蓄倉庫を新設	旧真壁郵便局がリニューアル		真壁伝承館が日本建築学会賞（作品賞）など5つの賞を受賞	高齢者を見守る「桜川市高齢者見守りネットワーク事業」開始（県内初）	交流人口拡大が評価され、第7回まち交大賞『まちづくり達成大賞』を受賞	屋根瓦が飛び、ガラス窓が割れるF1クラスの竜巻発生。市内北西部などで家屋損壊などの被害発生	桜川市公式Facebookを開設		まち・ひととを学ぶ第17回全国報徳サミット桜川市大会開催	大和駅前駐車場にゲート式機械警備を導入	周辺の町並みに配慮した真壁伝承館開館	福祉センター「あまびき」閉館	真壁町内一部道路の電線類地中化完了	東日本大震災発生。桜川市では震度6弱を観測。負傷者、家屋・道路の損壊、電気・水道の停止などの被害発生	大和・真壁地区で光ファイバーのサービス提供開始（市内全域で利用可能に）	市民と行政の協働のまちづくりが評価され、「地域づくり総務大臣表彰」受賞	真壁の町並みが、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定（県内初）	岩瀬駅前が整備され、駅前ロータリーが供用開始	岩瀬駅前道路の電線類地中化完了	桜川市初の女性消防分団が発足		北関東自動車道の桜川筑西IC～真岡IC開通	太陽光発電システムを導入した大和中学校の新校舎完成	第15回優秀観光地づくり賞「金賞総務大臣賞」受賞				



茨城県・桜川市総合防災訓練が開催され、地元住民も参加し、本番さながらの訓練が行われました。（平成27年）

北学校給食センターの老朽化などに伴い、旧大和中学校跡地に、桜川市学校給食センターを建設（平成25年）



東日本大震災が発生。震度6弱を観測した桜川市では、家屋の損壊や水道・電気の停止などの被害が発生し、避難所が開設されました。（平成23年）



岩瀬駅前が整備され、駅前ロータリーが供用開始（平成21年）



北関東自動車道の桜川筑西IC～真岡ICの開通式が行われました。（平成20年）



桜川市未来予想図

～市内で活動している皆さんに、市の未来を予想していただきました～





桜川市と同じ歳!! 平成17年10月1日誕生



ひろせ
えいた
く
ん
廣瀬 瑛大くん

「夢は、からくり装置を制作すること」と話してくれた瑛大君。好きな科目は図工と理科で、現在はブロック作りがお気に入りです。

桜川市の好きなところは、カブトムシ・クワガタなどの昆虫採集ができる田舎なところ。この夏も大好きなおじいちゃんとクワガタ捕りをしてきたそうです。

ご両親は、「夜泣きもなく、手の掛からない子でした」と、この10年間を振り返り、将来に向けて、「自分のことは、自分で何でもできる子に育ててほしい」と話してくれました。



10年前の瑛大くん

「近所に遊具のある公園がほしいです!!」と話してくれた優心ちゃんは、所属するスポーツ少年団のサッカーに夢中で、ポジションは、右サイドハーフとのこと。

チョコレートとチーズのケーキが大好きで、「将来は、パティシエールになりたい!」と明るい笑顔で夢を語ってくれました。でも実は…生クリームはちょっと苦手なこともこっそり教えてくれました。

ご家族は、「名前のとおり、心の優しい子に育ててほしい。産まれた時は2,400gと小柄でしたが、体は丈夫で病気知らずに育っています」と話してくれました。



10年前の優心ちゃん



なかざと
こころ
ちゃん
中里 優心ちゃん

人口と世帯

	住民基本台帳	9月1日現在
【男】	21,991人	(－2,650)
【女】	22,510人	(－2,745)
【計】	44,501人	(－5,395)
【世帯】	15,253世帯	(＋828)

()は桜川市が誕生した平成17年10月1日現在との増減

市民憲章

わたくしたちは、伝統と豊かな自然に恵まれたふるさとを愛し、限らない繁栄と幸せを願って、市民憲章を定めます。

一、市民と行政が協働で住みよいまちをつくります。

一、互助と信頼を深め、安心とやすらぎあるまちをつくります。

一、教養を高め、豊かな心と健やかな体を育むまちをつくります。

一、豊かな自然と歴史・文化が調和する潤いのあるまちをつくります。

一、地域資源を活かし、活力に満ちた豊かなまちをつくります。